

ファイザープログラム

心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

2023 年度採択事業

## 難民・避難民を含む在留外国人の精神科医療アクセス向上のための取り組み

### 調査結果

Q1-1. 貴院が所在する市区町村を教えてください。

#### 【所在地】

|     |     |    |     |     |     |    |     |      |     |      |     |      |     |     |     |     |    |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 千葉市 | 船橋市 | 旭市 | 松戸市 | 印西市 | 流山市 | 柏市 | 茂原市 | 八千代市 | 野田市 | 鎌ヶ谷市 | 市原市 | 木更津市 | 浦安市 | 市川市 | 八街市 | 成田市 | 合計 |
| 8   | 7   | 2  | 2   | 2   | 2   | 2  | 1   | 1    | 1   | 1    | 1   | 1    | 1   | 1   | 1   | 1   | 35 |

Q1-2. 貴院の種類について教えてください。

|          |    |
|----------|----|
| 無床診療所    | 25 |
| 一般病院     | 6  |
| 精神病院     | 4  |
| 特定機能病院   | 0  |
| 地域医療支援病院 | 0  |
| 有床診療所    | 0  |
| 合計       | 35 |

Q2-1. 令和6（2023）年4月以降に受け入れた外国人患者数を教えてください。

#### 【受け入れた外国人患者数】

|        |    |
|--------|----|
| 0人     | 11 |
| 1～5人   | 10 |
| 6～10人  | 7  |
| 11～20人 | 2  |
| 21人以上  | 4  |
| 合計     | 34 |

Q2-2. 上記患者の主な国籍を教えてください。

|    |          |    |
|----|----------|----|
| 1  | 中国       | 11 |
| 2  | 台湾       | 3  |
| 3  | 韓国       | 8  |
| 4  | 北朝鮮      | 1  |
| 5  | モンゴル     | 1  |
| 6  | フィリピン    | 8  |
| 7  | ベトナム     | 7  |
| 8  | タイ       | 4  |
| 9  | インド      | 4  |
| 10 | バングラデシュ  | 1  |
| 11 | ラオス      | 1  |
| 12 | スリランカ    | 2  |
| 13 | ネパール     | 2  |
| 14 | イラク      | 1  |
| 15 | レバノン     | 1  |
| 16 | アラブ首長国連邦 | 1  |
| 17 | ブラジル     | 2  |
| 18 | ペルー      | 2  |
| 19 | アメリカ     | 10 |
| 20 | カナダ      | 1  |
| 21 | イギリス     | 1  |
| 22 | フランス     | 1  |
| 23 | ハンガリー    | 1  |
| 24 | ルーマニア    | 1  |
| 25 | ロシア      | 1  |
| 26 | ウクライナ    | 2  |
| 合計 |          | 78 |

|       |    |     |
|-------|----|-----|
| アジア   | 53 | 68% |
| 北米    | 11 | 14% |
| ヨーロッパ | 7  | 9%  |
| 南米    | 4  | 5%  |
| 中東    | 3  | 4%  |

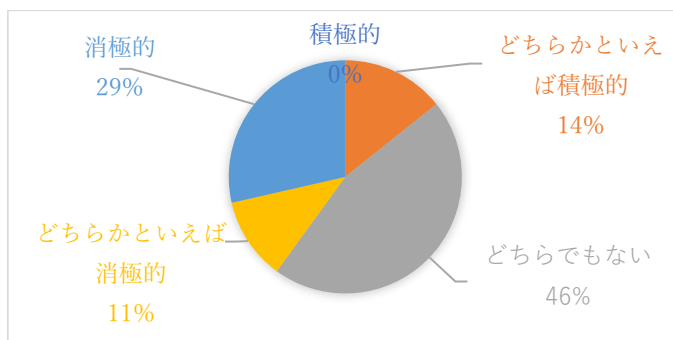
Q2-3. 受け入れた患者の主な病名を教えてください。（複数回答可）

|            |    |
|------------|----|
| うつ病        | 11 |
| 不安症・パニック障害 | 11 |
| 発達障害       | 8  |
| 統合失調症      | 7  |
| 睡眠障害       | 5  |
| 双極性障害      | 4  |
| 適応障害       | 4  |
| PTSD       | 3  |
| 依存症        | 2  |
| 高次脳機能障害    | 1  |
| 摂食障害       | 0  |
| 解離性障害      | 0  |
| 強迫性障害      | 0  |
| てんかん       | 0  |

Q3-1. 外国人患者の受け入れについて、貴院の対応を教えてください。

【外国人患者への受け入れ意欲】

|             |    |
|-------------|----|
| 積極的         | 0  |
| どちらかといえば積極的 | 5  |
| どちらでもない     | 16 |
| どちらかといえば消極的 | 4  |
| 消極的         | 10 |



Q3-2-1. 上記回答の理由を教えてください。（複数回答可）

- （どちらかといえば）積極的な場合

|   |   |
|---|---|
| 受け入れ経験がある                                 | 5 |
| 来院する患者は受け入れる                              | 4 |
| 地域に居住する外国人が多い                             | 3 |
| 外国語に対応できる（アプリ利用、通訳派遣利用、外国語を話せる医師・スタッフがいる） | 2 |
| 今後外国人が増えていくと思うから                          | 2 |
| その他                                       | 0 |

● (どちらかといえば) 消極的な場合

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 日本語以外に対応できない                  | 11 |
| 在留状況や生活背景がわからない               | 7  |
| 文化的な違いがわからない                  | 6  |
| 時間や手間がかかる                     | 6  |
| 診断が難しい                        | 5  |
| 家族や支援者など頼れる人がいないことがある         | 5  |
| 未払いとなるリスクが高い                  | 4  |
| 未承認薬や用量の違いなど、治療についてわからないことがある | 2  |
| その他                           | 1  |

「その他」の理由：言葉におけるサポートがゆきとどかない。

Q4. 外国人患者のために現在行っていることがありましたら、教えてください。あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。(複数回答可)

|                  |    |
|------------------|----|
| 通訳アプリの利用         | 13 |
| 通訳人の利用           | 4  |
| 外国語を話す医師・スタッフがいる | 4  |
| 問診票の多言語化*        | 3  |
| Webサイトの多言語化      | 1  |
| MSWによるサポート       | 1  |
| 外国人スタッフの雇用       | 1  |
| 無料低額診療の実施        | 1  |
| 他機関との連携          | 1  |
| 院内掲示文書・書類の多言語化   | 0  |
| 未払い補填事業の活用       | 0  |
| 海外における薬剤等の情報収集   | 0  |
| 研修への参加または院内研修の実施 | 0  |
| 特になし             | 14 |
| その他              | 1  |

「問診票の多言語化」：市の通訳ボランティアの活用

「外国語を話す医師・スタッフがいる」言語数：英語のみ

「その他」：現在就労している外国人スタッフにて可能な範囲にて対応

Q5. 外国人患者の受け入れに効果的と思われる対策の導入が困難な場合、その理由は何ですか？あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。（複数回答可）

|                     |    |
|---------------------|----|
| 人材の不足               | 18 |
| 時間的余裕がない            | 18 |
| 予算の不足               | 11 |
| 専門知識の不足             | 9  |
| 他機関とのネットワークまたは情報の不足 | 7  |
| 利用できる制度がない          | 4  |
| その他                 | 2  |

「その他」：会話が成り立ちにくい、言語、言語コミュニケーションの限界

Q6. 言語など、外国人患者受け入れの課題についてお尋ねします。課題については、患者と医療機関のどちらが対応すべきだと思いますか？あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。

|               |    |
|---------------|----|
| 国や行政が制度を整えるべき | 19 |
| 双方がそれぞれに努力すべき | 16 |
| 患者            | 6  |
| 医療機関          | 3  |
| その他           | 0  |

Q7-1. 外国人患者の受け入れについて、他機関と連携することはありますか

|    |    |
|----|----|
| ある | 7  |
| ない | 28 |

Q7-2. 上記回答が「ある」の場合、どのような機関とどのような連携を行なっていますか？（複数回答可）連携している機関

|                  |   |              |   |
|------------------|---|--------------|---|
| 保健所              | 3 | 弁護士（会）など法的機関 | 0 |
| 地域の福祉機関          | 3 | 精神保健福祉センター   | 0 |
| 外国人の診療に詳しい他の医療機関 | 1 | 国際交流協会       | 0 |
| 民間団体・ボランティア      | 1 | その他          | 2 |
| 外国人コミュニティのキーパーソン | 1 |              |   |

「その他」・自由記述：外国人通訳一詳しい説明が要る時は通訳の人を連れて来てもらう。

患者が見つめ、同行支援を求めている。

基幹型相談支援センター

Q7-3. 上記回答が「ない」の場合、その理由を教えてください。

|               |    |
|---------------|----|
| 院内に対応できる人がいない | 11 |
| 必要ない          | 7  |
| 適切な機関が地域にない   | 6  |
| 情報管理の点で懸念がある  | 3  |
| その他           | 4  |

「その他」：今の所、問題になっていない為。これまでのところでは必要を感じないが、当院の適応不可能な疾患の場合は適当と思われる所を紹介するつもり。人員・時間に余裕がない。今までその必要性がなかった。

Q8. 外国人患者を受け入れるために必要とされる支援についてお尋ねします。今後、外国人患者を受け入れるためには、何が必要と思いますか？あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。（複数回答可）

|                      |    |
|----------------------|----|
| 翻訳アプリやAIなど技術の活用      | 19 |
| 通訳人の派遣体制             | 15 |
| 未払い補填事業の活用促進         | 14 |
| 病院外で患者をサポートする体制・伴走支援 | 13 |
| 多言語対応への費用の助成         | 11 |
| 通訳の点数化               | 11 |
| 外国人患者に対応する医療制度       | 11 |
| 信頼して連携できる機関          | 9  |
| 外国人患者の生活状況の把握に役立つ情報  | 9  |
| 在留資格や法制度に関する情報・研修    | 9  |
| 薬剤に関する多言語化された情報      | 9  |
| 外国人患者対応マニュアル         | 9  |
| 多言語化された文書            | 7  |
| 外国人のメンタルヘルスにかかる研修    | 4  |
| 外国人スタッフの雇用           | 3  |
| その他                  | 2  |

「その他」：受診動機、理由、希望と治療目標、期待等、治療開始に当り、本人の意思が明確となった日本語の文書。

Q9.今後外国人患者が増えると想定した時、国や自治体などに求めることはありますか？自由にご記入ください。

回答（一部抜粋）

- ・ 通訳の問題、未払いの問題等、どちらも医療機関側の負担が大きい。
- ・ 外国人患者に対する医療制度を国が責任をもってつくるべきである。
- ・ 外国人の状況についての知識をより周知できれば受け入れがしやすくなると思います。外国の人にとっても安心して受診できる環境が整った方がよいと思います。
- ・ 分かりやすい指示、金銭面のフォロー。
- ・ 患者本人だけではなく家族への支援。
- ・ 言語の壁が大きな問題なのでサポートする仕組みを使ってほしい。確実に支払いをしてもらえる仕組みを使ってほしい。
- ・ 対応機会が少ないので検討が難しい
- ・ 情報提供
- ・ 事例の蓄積と、その結果のフィードバックがいただけると、それらを参考に支援の組み立てが行えると思います。

Q10.その他、ご意見がありましたらお聞かせください。

回答（一部抜粋）

- ・ 外国人を受け入れるなら、受け入れる体制をしっかりと作ってほしい。慈善団体やボランティアでは限りがある。

## 質問票

難民・避難民を含む在留外国人の精神科医療アクセス向上にむけた医療機関への調査研究

(※外国人等高齢者へのサービス提供の経験がない方もお願いします)

1. 貴院についてお尋ねします。以下に記入し、あてはまる項目に○をつけてください。

1-1. 貴院が所在する市区町村を教えてください。

( ) 市・区・町・村

1-2. 貴院の種類について教えてください。

|             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 一般病院     | 2. 特定機能病院 |
| 3. 地域医療支援病院 | 4. 精神病院   |
| 5. 有床診療所    | 6. 無床診療所  |

2. 外国人患者受け入れの現状についてお尋ねします。あてはまる項目にチェックを入れる、記入する、もしくは○をつけてください。

2-1. 令和6（2023）年4月以降に受け入れた外国人患者数を教えてください。

0人    1～5人    6～10人    11～20人    21人以上

2-2. 上記患者の主な国籍を教えてください。

|  |
|--|
|  |
|--|

2-3. 受け入れた患者の主な病名を教えてください。(複数回答可)

|           |               |
|-----------|---------------|
| 1. うつ病    | 2. 不安症・パニック障害 |
| 3. 統合失調症  | 4. 双極性障害      |
| 5. PTSD   | 6. 睡眠障害       |
| 7. 摂食障害   | 8. 適応障害       |
| 9. 発達障害   | 10. 解離性障害     |
| 11. 強迫性障害 | 12. てんかん      |
| 13. 依存症   | 14. 高次脳機能障害   |



3. 外国人患者への対応についてお尋ねします。あてはまる項目にチェックを入れる、または○をつけ、「その他」についてはご記入ください。

3-1. 外国人患者の受け入れについて、貴院の対応を教えてください。

積極的  どちらかといえば積極的  どちらでもない  どちらかといえば消極的  消極的

3-2. 上記回答の理由を教えてください。(複数回答可)

| (どちらかといえば) 積極的な場合 |  |
|-------------------|--|
| 1.                | 来院する患者は受け入れる                               |
| 2.                | 外国語に対応できる (アプリ利用、通訳派遣利用、外国語を話せる医師・スタッフがいる) |
| 3.                | 受け入れ経験がある                                  |
| 4.                | 地域に居住する外国人が多い                              |
| 5.                | 今後外国人が増えていくと思うから                           |
| 6.                | その他 ( )                                    |

| どちらかといえば) 消極的な場合 |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 1.               | 日本語以外に対応できない                  |
| 2.               | 文化的な違いがわからない                  |
| 3.               | 診断が難しい                        |
| 4.               | 時間や手間がかかる                     |
| 5.               | 在留状況や生活背景がわからない               |
| 6.               | 未払いとなるリスクが高い                  |
| 7.               | 未承認薬や用量の違いなど、治療についてわからないことがある |
| 8.               | 家族や支援者など頼れる人がいないことがある         |
| 9.               | その他 ( )                       |

4. 外国人患者のために現在行っていることがありましたら、教えてください。あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。(複数回答可)

|                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 通訳アプリの利用          | 2. 通訳人の利用                 |
| 3. 問診票の多言語化 (言語数: )  | 4. 院内掲示文書・書類の多言語化 (言語数: ) |
| 5. Web サイトの多言語化      | 6. 外国語を話す医師・スタッフがいる       |
| 7. MSW によるサポート       | 8. 外国人スタッフの雇用             |
| 9. 無料低額診療の実施         | 10. 未払い補填事業の活用            |
| 11. 他機関との連携          | 12. 海外における薬剤等の情報収集        |
| 13. 研修への参加または院内研修の実施 | 14. 特になし                  |
| 15. その他 ( )          |                           |

5. 外国人患者の受け入れに効果的と思われる対策の導入が困難な場合、その理由は何ですか？あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。(複数回答可)

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 1. 予算の不足   | 2. 時間的余裕がない            |
| 3. 人材の不足   | 4. 他機関とのネットワークまたは情報の不足 |
| 5. 専門知識の不足 | 6. 利用できる制度がない          |
| 7. その他 ( ) |                        |

6. 言語など、外国人患者受け入れの課題についてお尋ねします。課題については、患者と医療機関のどちらが対応すべきだと思いますか？あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 患者            | 2. 医療機関          |
| 3. 双方がそれぞれに努力すべき | 4. 国や行政が制度を整えるべき |
| 5. その他 ( )       |                  |

7. 外国人患者の受け入れと他機関との連携についてお尋ねします。あてはまる項目にチェックを入れる、または○をつけ、「その他」についてはご記入ください。

7-1. 外国人患者の受け入れについて、他機関と連携することはありますか？

ある     ない

7-2. 上記回答が「ある」の場合、どのような機関とどのような連携を行なっていますか？(複数回答可)

|                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| <b>連携している機関</b>            |                     |
| 1. 外国人の診療に詳しい他の医療機関        | 2. 弁護士(会)など法的機関     |
| 3. 精神保健福祉センター              | 4. 国際交流協会           |
| 5. 保健所                     | 6. 民間団体・ボランティア      |
| 7. 地域の福祉機関                 | 8. 外国人コミュニティのキーパーソン |
| 9. その他 ( )                 |                     |
| <b>連携の方法など(自由にご記入ください)</b> |                     |
|                            |                     |

7-3. 上記回答が「ない」の場合、その理由を教えてください。

|                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 必要ない        | 2. 情報管理の点で懸念がある  |
| 3. 適切な機関が地域にない | 4. 院内に対応できる人がいない |
| 5. その他 ( )     |                  |

8. 外国人患者を受け入れるために必要とされる支援についてお尋ねします。今後、外国人患者を受け入れるためには、何が必要と思いますか？あてはまる項目に○をつけ、「その他」についてはご記入ください。(複数回答可)

|                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 翻訳アプリやAIなど技術の活用    | 2. 在留資格や法制度に関する情報・研修    |
| 3. 通訳人の派遣体制           | 4. 外国人患者の生活状況の把握に役立つ情報  |
| 5. 通訳の点数化             | 6. 病院外で患者をサポートする体制・伴走支援 |
| 7. 多言語対応への費用の助成       | 8. 信頼して連携できる機関          |
| 9. 多言語化された文書          | 10. 外国人患者対応マニュアル        |
| 11. 外国人スタッフの雇用        | 12. 薬剤に関する多言語化された情報     |
| 13. 外国人のメンタルヘルスにかかる研修 | 14. 未払い補填事業の活用促進        |
| 15. 外国人患者に対応する医療制度    |                         |
| 16. その他 ( )           |                         |

9. 今後外国人患者が増えると想定した時、国や自治体などに求めることはありますか？自由にご記入ください。

10. その他、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

お忙しいところ貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、12月13日（金）までにご投函ください。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上のアンケートは無記名です。具体的な事柄の詳細を伺いたく、インタビューにご協力いただける場合は、下記に連絡先をご記入ください。

|         |
|---------|
| 病院名：    |
| 氏名：     |
| e-mail： |
| Tel：    |